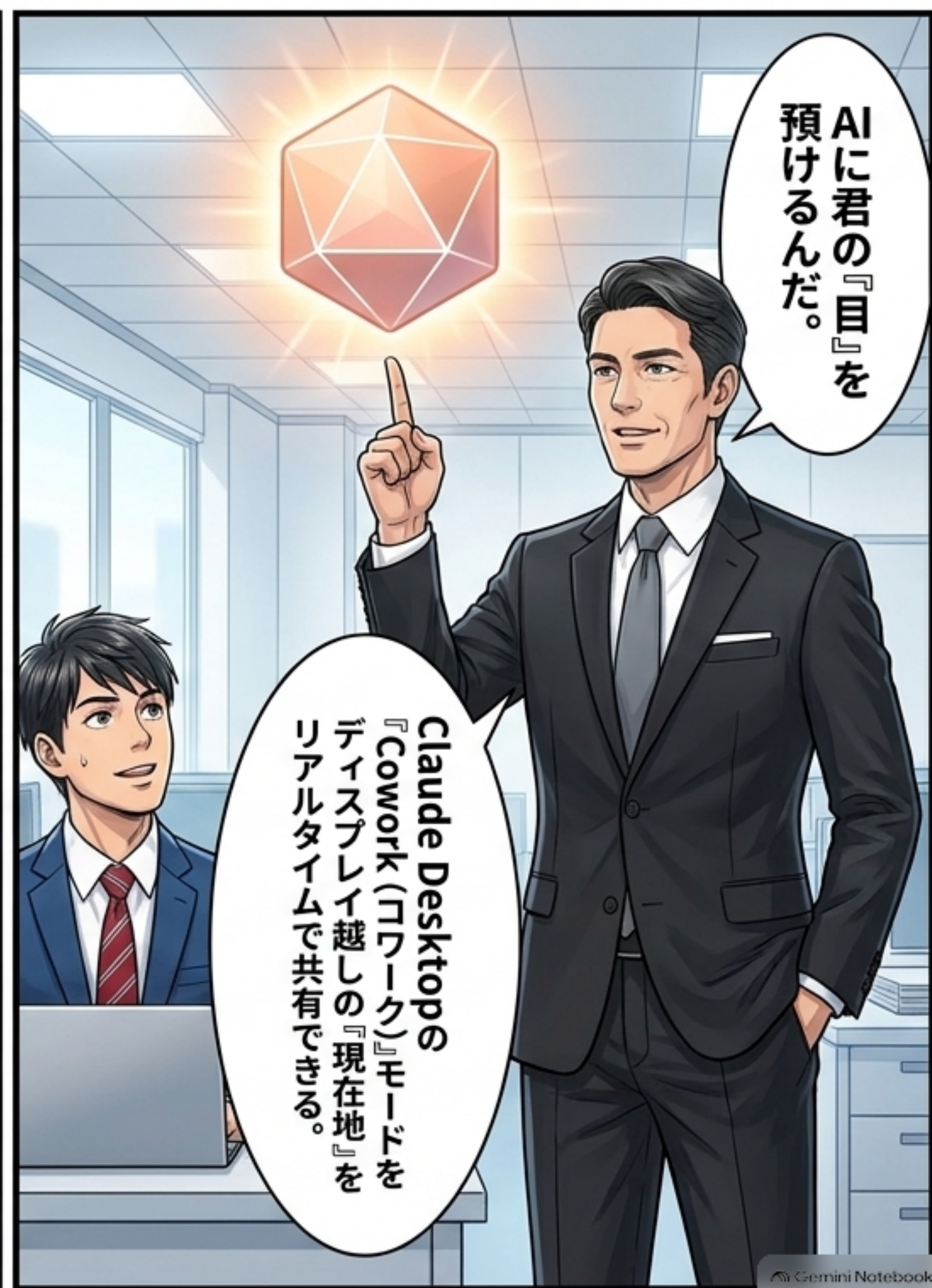
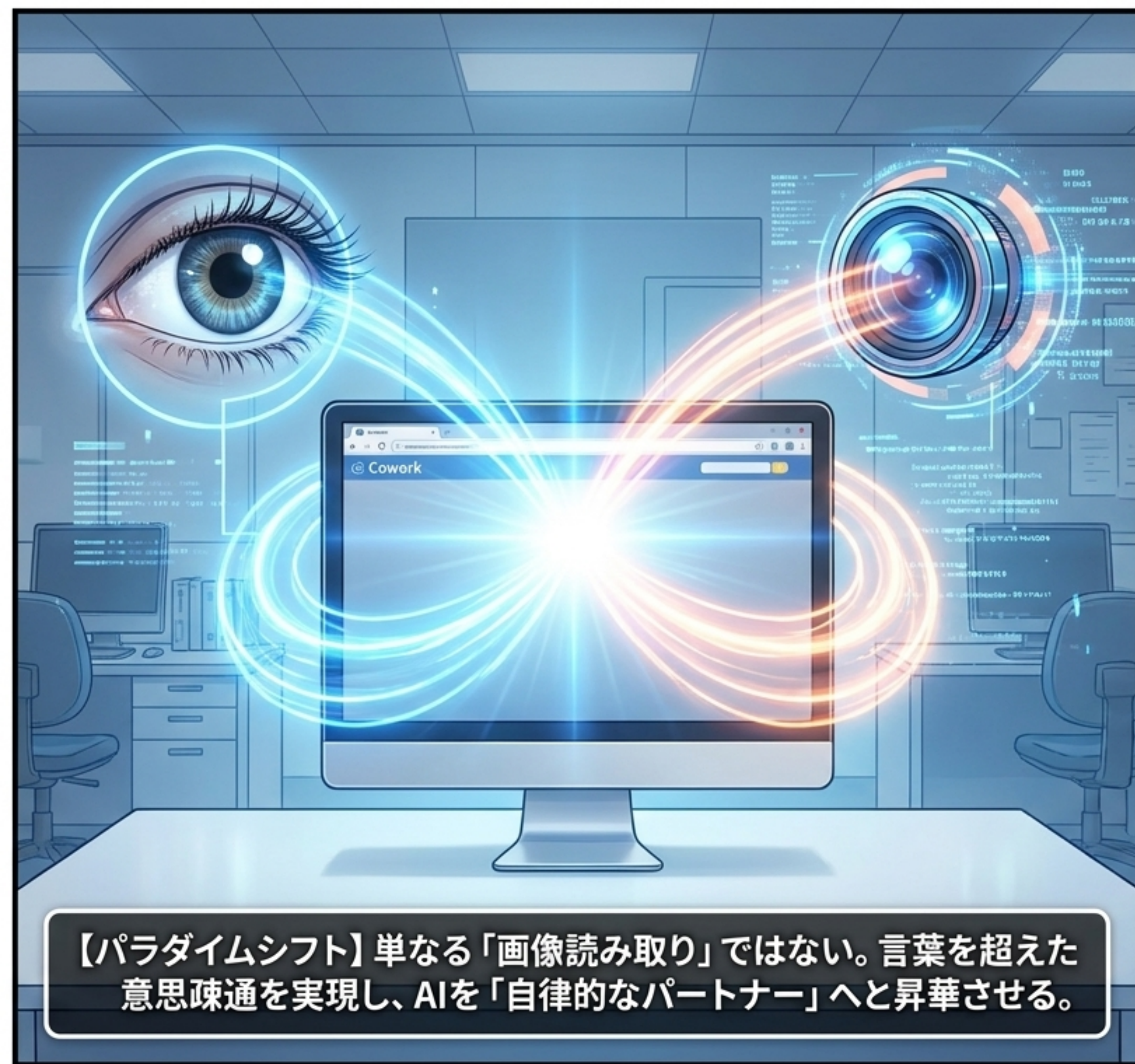


視覚を得たClaude Codeで開発を加速する 画像・スクリーンショット活用と「コワーク」の極意

言葉の限界を超え、AIに『目』を預ける
パラダイムシフトが今、始まる——。





Claude Code (CLI)

環境：ターミナル上での
エージェント

指示方法：
ファイルパスで画像指定

強み：高度なコーディング
タスクと自動化

Desktop Cowork モード

環境：GUI（画面操作）ベース

指示方法：
ドラッグ&ドロップ

強み：
プレビューを見ながらの
直感的な対話と複数
ステップの自律処理

まずはインターフェースの選択だ。
視覚的な操作に特化するなら、
DesktopのCoworkモードを
選ぶのが最強の近道だ。

アプリ起動後、モードピッカーで「Cowork」を選択。チャットバーに
/setup-cowork と入力し、役割とプラグインを最適化する。

その通り。
AIに『君のデスクはここだ。
この中のデザインとコードを見
て見比べて作業してくれ』と
明確な境界線を与える。
これが委任(Delegation)の
質を高めるんだ。

なるほど、
チャットバーのバーの
『フォルダで作業する』
機能ですね。

指定されたプロジェクトフォルダ

【共有コンテキストの構築】
物理的な場所(フォルダ)を教えることで、AIは「見て終わり」ではなく、
ファイルの書き込みや修正などの「行動(Agency)」が可能になる。

そうだ。
AIはピクセル情報から
余白や配色の意図を瞬時に読み取る。
仕様書を読み解くより
圧倒的に早い。

画像
(Pixel info)



AIの構造化
(Margins/Colors)

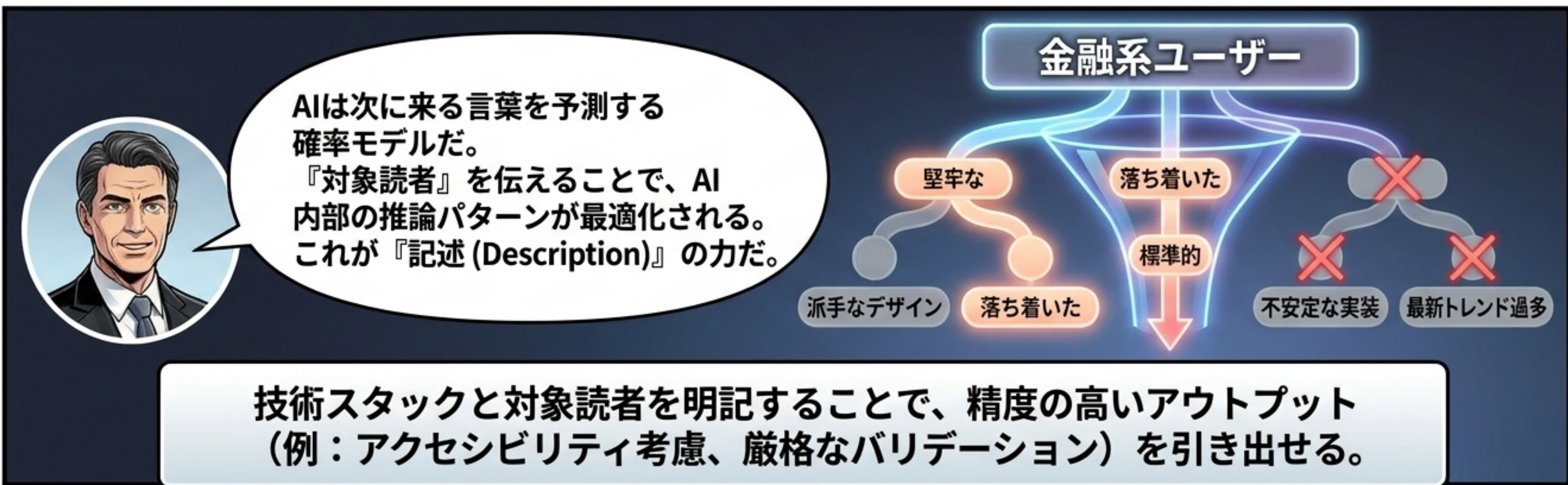


コード実装

数分の1に短縮

手書きのラフや
既存サイトの
キャプチャから
始めるんですね。

【高品質な画像の準備】ブラウザ拡大率100%。Retina等の高解像度で撮影。
ホバー状態などは「複数枚」用意すること。



うわっ、一瞬で完璧な
デザインができた！
これでもう完成で…痛っ！

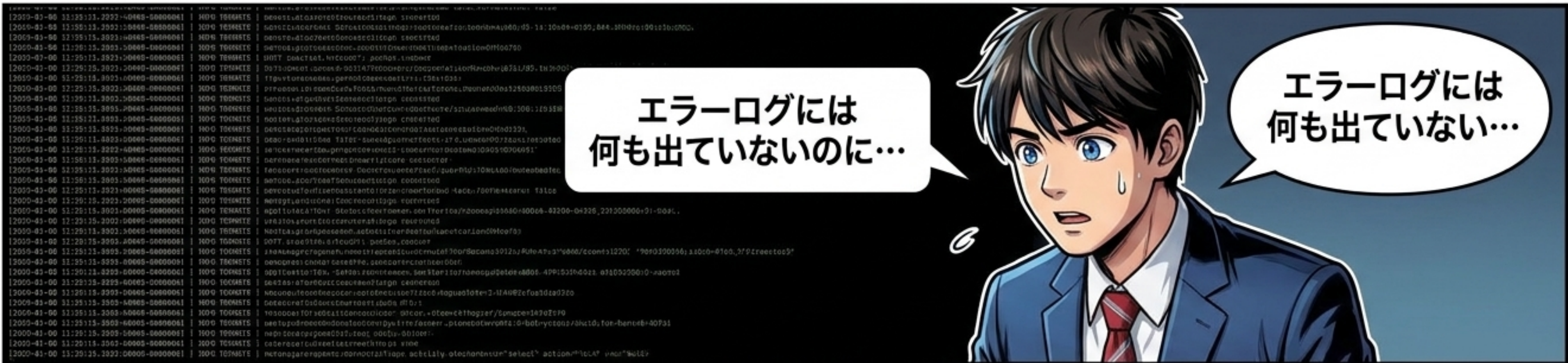
アーティファクト

バカモノ！
見た目の美しさに騙されるな。
『**アーティファクト効果**』
の罠だ。

見極め行動

-3.1~5.2ポイント

【**アーティファクト効果に注意**】 AIが生成したコードが洗練されて見えると、人間は批判的な視理的な視点を失う (AI Fluency Indexのデータ)。レスポンス対応やセキュリティは、セキュリティは、必ず人間の目で「見極め (Discernment)」を行うこと。

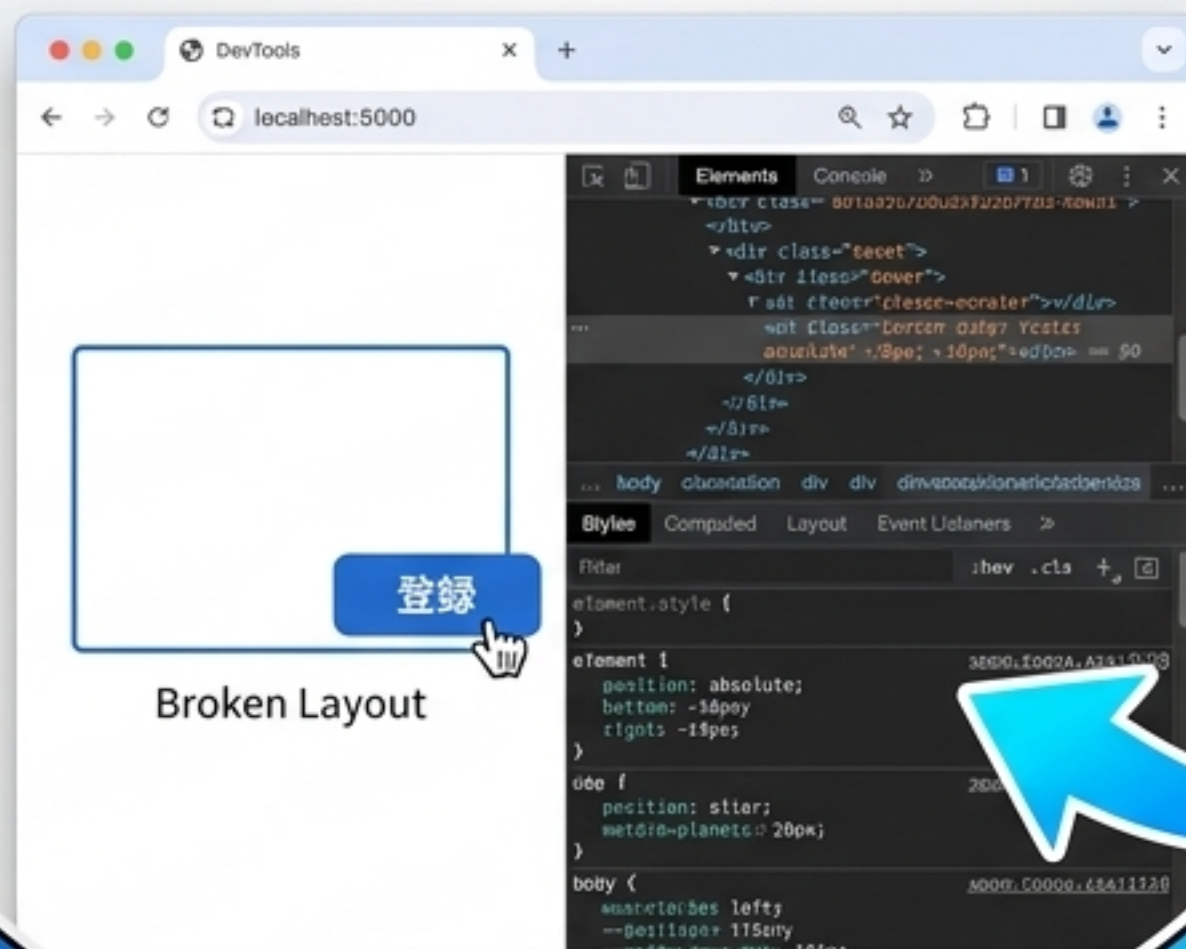


「原因を推論して教えて」と、
AIに思考プロセスを
言語化させるんですね。

修正
(Fix)

指示
(Prompt)

推論
(Reasoning)



単にスクショを撮るんじゃない。
じゃない。
デベロッパーツールの
『CSSタブ』も含めて、
AIに周囲の状況
(コンテキスト)を与える。
そして、すぐに答えを求めるな。

AIにコンテキスト (DevTools) を渡し、「position: absoluteの適用によるレイアウト崩れ」
などの推論を行わせることで、修正案の精度が劇的に向上する。



【初心者のつまずきと処方箋】

細かい要素の誤認を防ぐための視覚的誘導。

CLI使用時は / メム使用時は /effort high コマンドで
AIの思考リソースを増やし、二重チェックを強化できる。



人間がやるには退屈だが、間違えると面倒な作業。面倒を作まる民ある。ここでそのAIの『自律 (Agency)』を解放するんだ。

ボス (50歳)

【資産管理】大量の画像の中身をAIに視認させ、意味のある命名とフォルダ分類を委任する。

丸投げは危険ですね。
『まずは計画案を出して、
承認してから実行して』と
ガイドレールを設けます。



その通り。

Aの安請け合い(追従性)
(追従性)を防ぐんだ。

そしてスクショ内のパスワードや
機密情報を黒塗りする

『誠実さ(Diligence)』も忘れるな。
忘れるな。



不可逆なファイル操作は必ず事前計画を
要求し、透明性を確保すること。

✓ 計画の承認 (Planning)
→ 防ぐべき罣: 追従性 (Sycophancy)

✓ 機密の保護 (Masking)
→ 防ぐべき罣: 倫理的漏洩

Delegation (委任)

- 共有コンテキスト(フォルダ)を与え、自律的な作業環境を構築する。

Description (記述)

- 対象読者や技術スタックなどの文脈を伝え、AIの推論を導く。

Discernment (見極め)

- アーティファクト効果に惑わされず、人間の目で品質とセキュリティを評価する。

Diligence (誠実さ)

- 機密情報のマスキングや計画の承認を通じ、透明性と倫理を担保する。

この4つの歯車が噛み合って初めて、真の『AI Fluency (活用力)』が生まれる。AIは仕事を奪う存在ではない。君の目となり、迷宮を照らす灯台となるパートナーだ。

【AI Fluency】4つの要素 (Delegation, Description, Discernment, Diligence) を統合し、AIと協働する真の力を獲得する。



Action Steps

1. 気に入っているWebサイトのスクリーンショットを1枚撮る。
2. Claude DesktopのCoworkモードにドラッグ&ドロップ!
3. 「このサイトのレイアウトを分析し、CSSで再現する際の最も難しいポイントを3つ指摘して」と送信。

**視覚を得たAIという強力な道具で、
今日からデスクトップのすべてをイノベーションの燃料にしよう。**



さあ、次はあなたの番です！
今すぐ試してみましょー！